

ウクライナ・ロシア・ポーランド

——社会経済指標、価値観、言語からの比較観察——

石川 晃 弘

目 次

1. 主題の史的背景
2. 本稿の課題
3. 社会経済指標と価値類型からみた現代ウクライナの位置
4. 言語からみたウクライナとロシアおよびポーランドとの親和性
5. 検討と結語

1. 主題の史的背景

2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は、今世紀第1四半期における世界にとって最大の事件の一つといえよう。ロシアにとってウクライナは何なのか、また、ウクライナにとってロシアは何なのか。本稿ではこれを両国の社会経済的水準、両国民の価値類型、両国社会のコミュニケーション手段としての言語の類似性と差異性という、三点から探ってみる。

まずはその史的背景を概観しておく。

ウクライナは地理的のみならず歴史的にみても、ロシアとポーランドの狭間にあって翻弄されてきた。

歴史の通説（黒川2002など）によれば、ウクライナの大地に文明が開かれるのは、7世紀初め頃この地に現在のウクライナ人、ロシア人、ポーランド人などにあたるスラヴ系の人々の祖先が定着してからのこととされる。この人々は現在のウクライナ西部とポーランド東部に跨がる地域あたりから、農耕牧畜の生活をしながらゆっくりと東

へと生活圏を広げ、その一方、北方から南下してきたヴァイキングの一族が現在のロシア（ヨーロッパ部分の）、ベラルーシ、ウクライナの大半を範域に収めた大国、キーウ・ルーシ大公国を打ち立て、その首都をキーウとし、キリスト教を取り入れた。そのキリスト教は、ローマ帝国からヨーロッパ各地に広がったローマ・カトリック教とは系列を異にする、ビザンチン系の東方正教で、用いる文字もローマ字でなくキリル文字であり、暦も欧米風の西暦ではなく、クリスマスも新年も欧米風の暦よりも2週間ほど後ろにずれている。こうしてヨーロッパの中でギリシャ＝ローマとは文明を異にするもう一つの文明圏が成立した。

このキーウ・ルーシ大公国は12世紀頃から内紛でいくつかの公国に分かれ、それらがそれぞれ独立していった。そのうちの有力な一つがモスクワ公国で、これがその後のロシアの国家的ベースとなる。しかし13世紀に入るとモンゴルの襲撃を受け、1240年にキエフが陥落し、他の公国もモンゴルの支配下に服すこととなったが、税を納める代わりに公国としての存続を許され、服従と納税義務の代わりに平和と秩序が保証されていた。この時代を歴史家は「タタールの軛」、あるいは「パックス・モンゴリカ」の時代と呼ぶ。しかし現ウクライナ西部に当たる部分はリトアニアが領有し、14世紀中頃にはポーランドの領有下に繰り込まれ、現ウクライナのほぼ全土が16世紀後半にポーランド＝リトアニア連合国家、実質的にはポーランド王国の領有となった。この時代

がその後 200 年あまり続いた。

この間、現在のウクライナから南ロシアに跨がる地では、そこに住み着いた遊牧民、農民、小商人などが出自を問わない自治的な武装集団コサックを編成しだして、確固たる勢力を築き上げた。ポーランド王は貴族よりもこのコサックに軍事的に頼り（当時のポーランドは貴族民主主義が高度に発達し、国王の実質的権力は限られていた）、コサックは国王の軍人とされ、王の統制に従う一方、指導者は自分たちの中から選出し（のちには世襲制になった）、平時には家族と住んで畑を耕し、しかし銃剣は常に離さなかったという。そして時には自治を求めてポーランドに対して反乱を起こしたりもした。17 世紀中葉には現ウクライナ共和国の範疇に当たる地域の人口の半分がコサックだったと推定されている。ちなみに現ウクライナ国歌には「兄弟達よ、我らがコサックの氏族であることを示そう！」といった文言がある。

しかし 17 世紀の後半に入ると、モスクワとポーランドの条約締結で、現在のウクライナの中央を南北に流れる川の西側をポーランド、東側をロシアの主権として分割することが決められた後、コサックの国家は廃止され、東側の土地はロシア帝国に組み入れられ、コサック軍はロシア軍に編入された。その一方、ポーランドに編入された地域ではポーランド貴族が帰ってきたが、野武士団が彼らを襲い、コサック農民からの強い支持を得た。

やがてポーランドは 1772 年、1793 年、1795 年、1815 年の 4 回にわたってロシア、プロイセン、オーストリアの三国に分割されて、その東半分はロシアの支配下に繰り込まれた。やがて 1918 年に第 1 次世界大戦が終結した後になってポーランドは独立を回復するが、それもつかの間で第 2 次世界大戦の前夜にドイツとロシア（ソ連）に分割され、間もなく勃発した大戦で国土は荒廃し、大戦後はソ連ブロックに繰り込まれてロシアの影響下に置かれた。ポーランドが近隣のチ

ェコスロヴァキアやハンガリーなどとともにソ連ブロックの枠から解放されて名実ともに独立主権国家となったのは、1989 年の所謂「東欧革命」によってである。そしてその 2 年後のソ連邦の崩壊によって、ウクライナは主権国家となり、今日にいたっている。

2. 本稿の課題

これまでに俯瞰してきたように、ウクライナの大地は古代のキーウ・ルーシ大公国の崩壊とタタール支配の時代を経たのち、隣接する大国ロシアやポーランドに支配されて、20 世紀になるまでは独立した主権国家としてのウクライナというものは存在したことがなかった。ウクライナを統一して独立共和国を打ち立てようとした政治運動は 19 世紀末に起こり、ロシア革命の最中に主権国家を銘打つ「ウクライナ」が一時的に出現したが、第一次世界大戦末期から戦後初期における戦争や動乱で揺れ動いた。「ウクライナ」という名を冠した国が主権の制約を受けながらもその地に成立したのは、1922 年のソ連邦の成立によってであり、その構成国の一つとされてからのことである。しかしそれはロシアの圧倒的影響下の「ウクライナ社会主義共和国」であって、重工業化と農業集団化でソ連型社会主義経済の発展路線に組み込まれ、大飢饉や大粛清を蒙り、第 2 次大戦の独ソ戦で荒廃し、「豊かな穀倉地帯」の上で人々は著しく困難な生活を余儀なくされてきた。ウクライナが事実上の独立主権国家として独り歩きを始めることになるのは、先に触れたように、ソ連邦の崩壊を契機にしてである。

では現在、主権国家ウクライナの大地の上に暮らす人々の生活と経済は、どんな状況にあるのか。そして人々はどのような価値観を抱いて日々の生活を送っているのか。この点が本稿の課題の一つとなる。

ところでウクライナの地は、黒海に面して他国との海洋交通に適した南部沿岸や、農業牧畜に適

した広大な平野と南北を縦に走る大小の河川に恵まれ、ロシア人やポーランド人だけでなく、ユダヤ人、アルメニア人、ジョージア人、トルコ人、ギリシャ人、ルーマニア人、ブルガリア人などなど、中世の時代からこの地にさまざまな人々が渡来して農業や牧畜、商業や手工業などに従事して定着した。これらの人たちはいったいどんな言語を介して交易活動を行い、生活を営み、相互に交流していたのだろうか。宗教活動や司法・行政管理などに関しては何らかの公用語があったとしても、民衆の間では相互に理解しあえるどんな生活言語が形成されていたのだろうか。この問いに答える用意は筆者にはまったくない。

しかしウクライナが国家として成立するには、全国民にとって相互に理解しあえる〈国語〉の確立が必須となる。言い換えれば、国語は国民統合の絆といえる。通史によれば、ウクライナで国語確立への取り組みがなされるようになったのは、ロシアやオーストリアやハンガリーの傘下に置かれていたスラヴ系諸民族が18世紀末から19世紀にかけて自立を求める運動を展開しだした、「民族覚醒」運動の文脈においてである（中澤2018：105）。

当時のウクライナにおいては大部分の貴族エリートがロシア文化に同化していたのに対して、新たな社会層として登場してきたインテリゲンツィアがその運動を担った。詩人タラス・シェフチェンコ（1814-61）はその代表的人物で、農民の話し言葉と伝統的な教会スラヴ語を統合してウクライナ語をコード化し、現代ウクライナ国語の創設者とされている。しかし、当時ウクライナの土地の大部分を領有していたロシアは、1863年にウクライナ語抑制政策を打ち出し、1876年にはウクライナ語を禁止するにいたった。ソ連時代にはウクライナの地でウクライナ語の教育も行われたが、それはソ連邦共通語のロシア語の下で、いわば第二言語の地位に置かれていた。そして1989年になってやっと、ゴルバチョフのベレストロイ

カとグラスノスチの路線のもとで、それまで抑圧されていたウクライナ語が公式にウクライナの公用語となった。

だが2001年時点の国勢調査によると、「ウクライナ国民の67.5%がウクライナ語を、29.6%がロシア語を母国語とみなしている」（ダツェンコ・原田訳2018：76）とされ、「ウクライナ語を母語とする人の比率は歴史的にポーランド、オーストリア・ハンガリーの支配下にあった西部で高く、ロシア支配の歴史が長い中部、およびロシアに編入され19世紀初頭にロシア人が大量に移民した東部、南部では高い。東西で母語維持率が著しく異なっている」（中澤：10）という。

本稿ではその母語維持率の地域的差異というテーマはとりあえず脇に置いて、標準的な現代ウクライナ語の中の語彙が、どれだけロシア語やポーランド語の語彙と共通性・類似性を持っているか、換言すれば、国語としての現代ウクライナ語はロシア語やポーランド語とは異なる独自の語彙をどの程度持っているのかを検証してみる。これが本稿のもう一つの課題となる。

3. 社会経済指標と価値類型からみた 現代ウクライナの位置

(1) 客観的指標としての社会経済的位置

ソ連解体とともに主権国家として独立して今日あるウクライナ共和国の経済的社会的状況を、国際機関の諸調査結果から俯瞰してみる。

まず国民1人当たりの購買力平価 GNI（国民総所得）について世界銀行調査（2020年）をみると、調査対象は195カ国でその平均値は17,083米ドルであるが、ウクライナは103位で13,057米ドル、ロシアは56位で28,213米ドル、ポーランドは46位で34,406米ドルである。つまり、ウクライナの国民1人当たり購買力平価はロシアのほぼ半分で、ポーランドの4割に満たない。また、IMF調査（2021年）では、調査対象193カ国のうちウクライナは97位（14,325米ドル）、ロ

シアは 57 位 (30,850 米ドル)、ポーランドは 43 位 (37,786 米ドル) で、世銀調査の結果とほぼ同じ傾向が認められる。ちなみにこれら二つの調査結果のどちらにおいても、ウクライナはロシアだけでなくベラルーシやブルガリアとくらべても下に位置する。

次に失業率 (完全失業者数/労働力人口) を ILO 調査 (2020 年) の結果からみると、調査対象 189 カ国の中でウクライナは 63 位 (9.13%) で、114 位のロシア (5.59%) や 164 位のポーランド (3.16%) よりも高く、ブルガリアやベラルーシなどを含む旧ソ連東欧ブロック諸国の中でも高い位置にある。ちなみに IMF 調査 (2021 年) をみても、ウクライナは失業率が 9.78% で、調査対象 107 カ国の中で 30 番目に位置し、ロシア (4.83%, 79 位)、ポーランド (3.50%, 96 位)、さらにはベラルーシやブルガリアよりも高い失業率を呈している。

データがやや古くなるが、国際統計格付けセンターがネット上に公開している〈世界の中の日本を知る：世界ランキング〉の世界・貧困層の人口割合ランキング CIA 版をみると、調査対象 162 カ国 (貧困率世界平均 298.4%) のうち、ポーランド (2008 年) が 10.6% で 141 位、ロシア (2013 年) が 11.0% で 139 位、これに比べてウクライナは (2010 年) は 24.1% で 87 位であり、27.1% で 77 位のベラルーシ (2003 年) とともに旧ソ連圏にあったロシア・東欧諸国のなかで貧困人口比がもっとも高い国となっている。

このようにロシアを含む旧ソ連の範囲内であったヨーロッパ諸国の中で、ウクライナは所得水準がもっとも低く、失業率がもっとも高く、貧困率も高い国となっている。

以上を要約すれば、ウクライナは、旧ソ連ブロックにあったロシア・東欧諸国の中で最貧国に位置する。

1960 年代、70 年代、80 年代にかけての時期には、西ヨーロッパ諸国の間で開いた経済格差と所

得格差のもとで、南欧やトルコなどから独仏や北欧へ向かう出稼ぎ労働力の移動が顕著にみられたが、ソ連ブロック崩壊後の 1990 年代にはウクライナがその労働力の供給源として西側経済ブロックに組み込まれるようになった。ウクライナは西欧・中欧の軽工業部門の諸企業が下請け賃加工を低コストで担うための事業所を進出させて現地労働力、とくに女性労働力を吸収し、男性は西欧・中欧の建設現場や製造現場の肉体労働へと出稼ぎが常態化した。ソ連崩壊後のウクライナは西側資本にとって低賃金労働力の大きな給源地となった。こうしてウクライナは、資源や燃料の供給をロシアに依存しながらも、その国民の就労の場は外資系企業や西側労働市場に広く繰り込まれるようになって、現在に至っている。

では、現在を生きるウクライナ国民にとって、その生活状態の快適度はどのような水準にあるのか。2015 年国際連合持続可能開発ソリューションネットワーク (UNSDSN) のデータをもとに国際統計格付けセンターによる「世界の中の日本を知る：世界ランキング」(ネット) から、この点を探ってみる。ここでのランキングに使用されている「幸福度」指標は、「1 人当たり DGP」「健康寿命」「社会的支援」「生き方の自由度」「気前よさ」「腐敗認識度」から算出され、偏差値世界平均を 50.00 として世界 158 カ国のランキングが示されている。これによると、ポーランドが 60 位、ロシアが 64 位であるのに対して、ウクライナは 111 位で下位グループに属する。ちなみに最上位はスイス、次いでアイスランド、デンマーク、ノルウェー、カナダ、フィンランド、オランダ、スウェーデンなどの国々で占められ、最下位はトーゴで、アメリカは 15 位、日本は 46 位、中国は 84 位である。

(2) 主観的指標としての価値類型

以上の国際データから見るかぎり、ソ連崩壊後に独立主権国家となったウクライナの現在の客観

的な社会経済状況は、国際的にみてかなり低い地位にあり、歴史的に深い関係にあったポーランドやロシアとの格差も顕著にみられる。そのような状況下で生活を続けるウクライナの民は、どのような価値観を抱いて日々を過ごしているのか。

この点を二つの国際比較調査結果から探ってみる。一つはイングルハートらによる世界価値観調査結果 (Inglehart and Baker 2000: 29 ほか) で、ここでの観察の素材はその調査結果を基に描かれた「イングルハート・ヴェルツェル文化地図」から得ている。もう一つはコズロヴァらによる信頼文化の国際比較調査結果 (Kozlova and Izdebska, eds. 2013) の中のキタイツェヴァとクチェンコヴァ (Kitaitseva and Kuchenkova) の論文である。

まず、イングルハート・ヴェルツェル世界文化地図からみしてみる。

そのデータは世界数十カ国の国民を対象にした質問紙法によるサンプリング調査から得られたものであり、各国国民の特徴が〈伝統志向か世俗合理志向か〉を縦軸、〈生存維持志向か自己表出志向か〉を横軸にした図によって示されている。本稿の図では数ある調査対象国の中からウクライ

ナ、ロシア、ポーランド、そして参考までに日本、米国、スウェーデン、ブルガリアを取り上げる (図1, 図2)。

この調査で用いられている〈伝統志向—世俗合理志向〉は次の意見への賛否で測定されており、「賛成」は伝統志向的、「反対」は世俗合理志向的を意味する。これは、個人の意思を超越した権威への没合理的帰依の態度と、伝統的集団規範からの個人の合理主義的自立の態度とを対比させた価値尺度である。

「神は私の人生において非常に重要だ」「子供には自立や決定よりも従順と信仰を学ばせるほうが重要だ」「墮胎は決して正当化できることではない」「私は強い民族的自負心を抱いている」「私は権威に尊敬心を抱いている」
もう一つの〈生存維持志向—自己表出志向〉は次の意見への賛否で測定されている。

「私には自己表出や生活の質よりも経済的・物質的な確保のほうが重要だ」「私は自分をあまり幸せだとは思っていない」「私は請願に署名したことはなく、署名したいとも思わない」「同性愛は決して正当化できない」「他

図1 1995年イングルハート・ヴェルツェル世界文化地図 (抜粋)

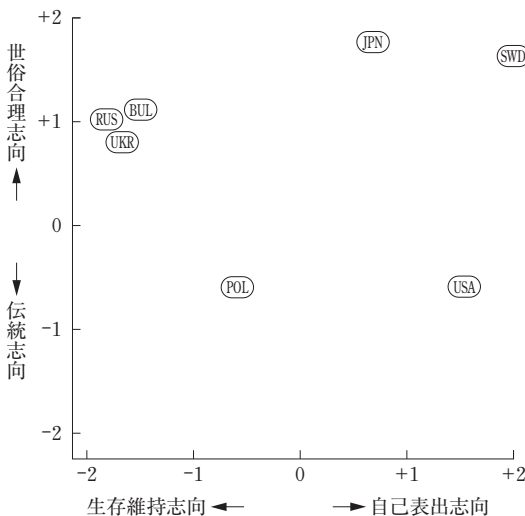


図2 2020年イングルハート・ヴェルツェル世界文化地図 (抜粋)

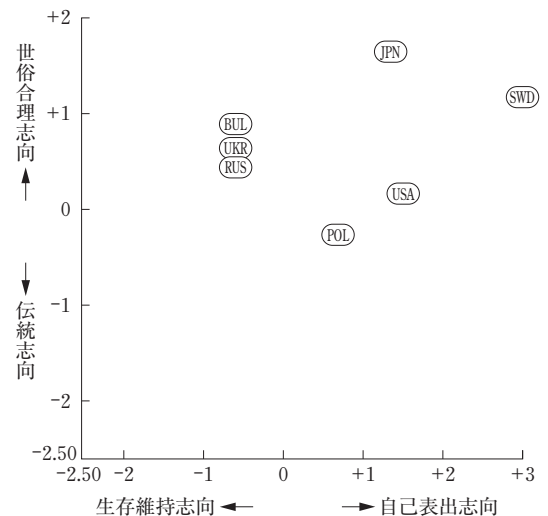


表1 価値分布のクラスター

	生存維持志向		自己表出志向
伝統主義	ロシア ウクライナ ベラルーシ ブルガリア	日本 ドイツ チェコ	北欧諸国 オランダ
	バルカン諸国	ポーランド 東南アジア諸国	米国 オーストラリア イギリス カナダ
世俗合理主義	アフリカ諸国	中南米諸国	

人に対しては信頼するよりも警戒したほうがよい」

後者の尺度の基本的視点は、「生理的欲求」、それが満たされれば「安全欲求」、さらにそれが満たされれば「社交欲求」、さらにそれが満たされれば「尊敬欲求」、そしてそれが満たされれば「自己実現欲求」へという、マズロー (Maslow) の古典的な欲求段階説を想起させる。

この二つの図から次の点が浮かび上がる。

- ① 独立間もない1995年時点においてもその後四半世紀を経た2020年時点においても、調査対象90余の国々の中でウクライナ人の価値観は数ある国々の中でロシア人にもっとも近く、そのすぐ傍にはブルガリア人がいる。この3カ国のクラスターは1995年時点では世俗合理志向的で、同時にすぐれて生存維持志向的であった。2020年時点での世俗合理志向は1995年時点とほぼ同水準にとどまっているが、生存維持志向がやや後退して、その分自己表出志向の方向へ傾斜してきている。ここにみられる変化には、この四半世紀におけるウクライナ人、ロシア人、ブルガリア人の暮らしに余裕が出てきたことが表われていると思われる。
- ② ポーランド人はロシア人やウクライナ人と異なる価値傾向をみせており、1995年調査ではロシア人やウクライナ人とは異なって現世合理志向であるよりもむしろ伝統遵守志向的であり、その特徴は2020年調査でも表われている。また、ポーランド人は1995年調査ではどちらかといえば生存維持重視であっ

たが、2020年調査では自己表出重視になっていて、この間における生活状況の改善と向上が価値志向の移行に反映されているとみられる。

- ③ ちなみに体制転換期とその数年後にあたる1990年-91年と1995年-98年の調査結果でも、上記の結果とほぼ同様なウクライナ・ロシア・ポーランドの位置関係がみてとれる (Inglehart and Baker 2000: 29)。
- ④ なおアメリカ人の価値志向は1995年調査でも2020年調査でも、ロシア人・ウクライナ人・ブルガリア人の対極に位置しているが、その差異は2020年には1995年よりも縮小している。

上記のような推移が認められるとしても、調査対象諸国の位置分布の型は基本的には変わっていない。いくつか他の国々もとりあげてそれを表示すると、表1のようになる。

もう一つの国際比較調査結果 (Kozlova and Izdebska eds. 2013) からウクライナ、ロシア、ポーランドの若者達の社会的信頼感と価値観を探ってみる。この調査では上記三つの国のほか、リトアニアとチェコが対象に含められており、信頼感とは「一般的信頼観」と「対人的信頼感」の二側面で測定され、これが「個人主義」的であるか「家族主義」的であるかという価値志向との関連で分析されている。その結果を表示すると表2と表3のようになる (Kitaitseva and Kuchenkova 2013: 91, 93)。

これらの表によれば、ロシア人とウクライナ人は個人主義も家族主義も弱く、ポーランド人はそ

表 2-(1) 一般的信頼観の高低と個人主義の強弱

	個人主義 弱い		個人主義 強い
一般的信頼 高い		ポーランド	
	ロシア ウクライナ		リトアニア
一般的信頼 低い		チェコ	

表 2-(2) 一般的信頼観の高低と家族主義の強弱

	家族主義 弱い		家族主義 強い
一般的信頼 高い			ポーランド
	ロシア ウクライナ		リトアニア
一般的信頼 低い			チェコ

表 3-(1) 対人的信頼感の高低と個人主義の強弱

	個人主義 弱い		個人主義 強い
対人信頼感 高い		チェコ ポーランド	リトアニア
対人信頼感 低い	ロシア ウクライナ		

表 3-(2) 対人的信頼感の高低と家族主義の強弱

	家族主義 弱い		家族主義 強い
対人信頼感 高い			ポーランド チェコ リトアニア
対人信頼感 低い	ロシア ウクライナ		

の逆で個人主義も家族主義も強い、そしてウクライナ人とロシア人は対人信頼感が弱く、ポーランド人はそれが強い。一般的信頼観においてもウクライナ人とロシア人はポーランド人より低い。これらの調査結果でみるかぎり、ウクライナ人はロシア人と同じグループに属し、ポーランド人からはかけ離れている。この点は、さきに見たイングルハートの世界価値観地図における布置状態と共通する。また、アシニーモフは対人信頼感の国際比較を通して、「ロシアとウクライナは調査対象諸国の中でもっとも原子化した（個人ばらばらな一筆者注）社会である」と結論づけている（Asinimov 2013: 172）。

以上の観察結果を本稿のテーマに即して要約す

るならば、ウクライナ人とロシア人は社会経済的水準では開きがありながら、価値観においてはほぼ共通しているといえる。それは両国民が同じビザンチン正教文化圏に属していることによるものなのか、それともソ連邦時代の共通体験の履歴効果（経路依存効果）によるものなのか。この点の検討は本稿の範囲を超える。

4. 言語からみたウクライナとロシアおよびポーランドとの親和性

本稿の冒頭部分で触れたように、古代に成立したキーウ大公国のなかでロシアとウクライナは未分化の中にあり、中世にはモンゴル帝国の領域に繰り込まれたが、近世から近代にかけてウクライ

ナはロシアとポーランドの、そしてポーランドが近隣の三つの強国に分割されてからはロシアの支配下に置かれ、20世紀に入ってごく短期間に「ウクライナ共和国」が出現したがロシア革命後にソ連邦に編入され、結局18世紀末から約200年、ロシアの圧倒的影響下に置かれてきた。ウクライナが実質的に独立した主権国家として立ち現れたのは、既述したようにソ連邦の解体後で、1990年代に入ってからのことである。

主権国家ウクライナが拠って立つべき国語としての標準ウクライナ語は、先に触れたようにすでに19世紀中葉に詩人シェフチェンコらによって構築され（黒田2022:105-112）、ロシア革命と内乱の最中に短期間立ち現れたウクライナ人民共和国政府によって国語として宣言されたが、ソ連邦のなかの共通公式言語はロシア語であった。現代ウクライナ語が独自の国語として正式に承認されたのは、さきに触れたようにソ連末期のゴルバチョフ時代、1989年のことである。

しかし、現在の標準母国語としてのウクライナ語自体の中に、ロシア語やポーランド語の要素が浸透（あるいは逆浸透）している事実も指摘しなければならない。

文法の構造に関しては、この3カ国語は同じスラヴ系言語としてかなり共通している。名詞は男性名詞、女性名詞、中性名詞に分かれ、形容詞も名詞にともなって格変化する。動詞の過去形は主体が男性か女性か中性か、単数が複数かで語尾が変わる、等々。

発音に関しては3カ国語の間にやや違いがあり、アクセントはポーランド語では語尾の前の母音を長音化させ、ロシア語とウクライナ語では単語によってその位置はまちまちで、ロシア語ではアクセントがない母音オはアとなるがウクライナ語ではオはオである。このような違いは表現上の訛りの違いのように聞こえる。また、ポーランド語の母音aとeに鼻音がある（aやeと表記）が、ウクライナ語やロシア語にはそれがない。さら

に、ロシア語ではeはイエと発音するが、ウクライナ語ではそのままエである。

ところで、ここでの課題は、現在の標準ウクライナ語で使われている単語が、それに意味上相応するロシア語やポーランドの単語とどれだけ共通し、あるいは類似しているかを検証する点にある。ここでとりあげるのは中澤英彦が「ウクライナ語、ロシア語、スールジク」（服部倫卓・原田義也編著『ウクライナを知るための65章』105頁）に載せている「ウクライナ語のあいさつ表現」25語句に加えて、筆者が新たに生活や社会に関連した225の単語を加えた、合計250の語彙である（本稿末尾に付した「ウクライナ語・ロシア語・ポーランド語の語彙対照表」に掲載）。

ここで取り上げる250語彙を、まず①挨拶、②疑問詞、③時のリズム、④人称代名詞、⑤人・家族・親族等、⑥住居と暮らし、⑦飲食、⑧田園・都会、⑨労働・企業、⑩教育、⑪学術・研究、⑫民衆・国家・国際というグループに分けて、それぞれのグループの中の各語彙について表にして、ロシア語とポーランド語の当該語彙がウクライナ語のそれに共通ないし類似しているかを観察する。観察上、共通または多少でも類似しているものにはX印を記している。

①で取り上げたウクライナ語とほぼ共通あるいはやや類似するロシア語の語彙は12で42.9%、ポーランドの語句は14で50.0%である。そのうちロシア語とポーランド語とが共にウクライナ語に類似している（ということはロシア語とポーランド語も類似している）のは7語彙で全体の4分の1、つまり25%にのぼる。

②の疑問詞10語のうちウクライナ語にほぼ共通あるいはやや類似しているロシア語の語彙は8語であり、その比率は80%にのぼる。ポーランド語の場合は60%で、これもかなり高い比率である。両語共にウクライナ語に近いのは50%であり、およそ半分の疑問詞は3カ国の言語に共通している、あるいは類似しているといえる。

① 挨拶 (28 語)

	ロシア語	ポーランド語		ロシア語	ポーランド語
挨拶	X		乾杯!		
初めまして			ご免なさい		
ようこそ			ご機嫌いかが		X
お名前は?	X		よいです (副詞)	X	X
私の名は…	X		悪いです (副詞)		
こんにちは	X	X	素晴らしい	X	X
おはよう			どうぞ		
こんばんは	X	X	おもしろい		X
お休みなさい		X	好き・愛してる	X	X
ありがとう	X	X	気に入る		X
やあ	X		おいしい		X
さようなら			はい	X	
お願いします			いいえ	X	X
召し上がれ		X	Mr./Ms.		X

② 疑問詞 (10 語)

なに?	X		どこへ?	X	
いつ?			なぜ?	X	
だれが?	X	X	どう, いかにか?	X	X
だれの?	X	X	どんな (+男性)?		X
どこに (で)	X	X	どちらの?	X	X

③ 時のリズム (31 語)

昨日	X	X	3月		
今日	X		4月		X
明日	X		5月		
朝		X	6月		X
昼		X	7月		X
夕	X	X	8月		X
夜	X	X	9月		X
月曜	X	X	10月		
火曜	X	X	11月		X
水曜	X	X	12月		X
木曜	X	X	春	X	X
金曜	X	X	夏	X	X
土曜	X	X	秋	X	X
日曜		X	冬	X	X
1月		X	年		X
2月		X			

③では、1月から12月までの呼び方は3月と5月と10月を除くとウクライナ語とポーランド語はほぼ共通しているが、ロシア語では欧米風の呼び方をされていて、この点ではウクライナ語ともポーランド語とも異なる。しかし月曜から土曜までの曜日の呼び方や春夏秋冬の表現は三つの国でほぼ共通している。表に掲げた語彙をすべてまとめて比較してみると、表中の31語中、ロシア語とウクライナ語は15語(48.4%)、ポーランド語とウクライナ語は26語(83.9%)が共通ないし類似していることになり、そのうちロシア語とポーランド語も類似しているのは全体の41.9%を占める。

ウクライナ語もロシア語もポーランド語も他の多くのスラヴ系諸言語と共通して、名詞には主格(～は)、生格(～の)、与格(～に)、対格(～を)、造格(～で)、前置格(前置詞に付いて変化)があり、その格によって形が変わるが、ここでは主格(～は)と対格(～を)を取り上げて比較してみる。それによると三人称男性主格と三人称女性対格を除けば、ここで取り上げている三つの国の言語はほぼ共通ないし類似している。表の中のマークをみると14の語彙のうちウクライナ語にほぼ共通ないしやや類似しているロシア語の単語は13(92.9%)、ポーランド語のそれは12(85.7%)で、しかもロシア語とポーランドの単語も相互にはほぼ重なっている。

⑤で取り上げているのは人とその家族、および親族やその他の第一次集団に関わる名詞群の34語である。ここで興味深いのは、ロシア語やポーランド語では「人間」を意味する語がウクライナ語では「男」や「夫」を意味し、「妻」はその女性伴侶という意味の単語で表現されているという違いである。他の家族、親族、知人らの呼称は「親」以外はほぼロシア語とポーランド語の場合と共通ないし類似している。表の34語中、ロシア語と共通ないし類似しているのは22語(64.7%)、ポーランド語とは20語(58.8%)であり、

そのうちこの両語がともにウクライナ語と共通ないし類似しているものは18語(52.9%)にのぼる。

⑥で取り上げた「住居と暮らし」に関わるウクライナ語の単語は、そのほとんどがロシア語とポーランド語に共通ないし類似している。15語のうちロシア語やポーランド語と共通ないし類似しているのは、ロシア語の場合14語で93.3%、ポーランド語の場合は12語で80.0%であり、ウクライナ語、ロシア語、ポーランド語の3カ国語に共通ないし類似している単語は11語で、73.3%にのぼる。住居に関わる用語はこの3カ国に共通したものが多いとみられる。

⑦の飲食に関わる単語も住居に関わるそれに似て、3カ国の用語はかなり共通ないし類似している。取り上げたウクライナ語の28語のうち、24語(85.7%)がロシア語、また23語(82.1%)がポーランド語と共通ないし類似している。つまりここでは8割以上の単語がウクライナ語とロシア語とポーランド語でほぼ共通しているといえる。なおロシア語ともポーランド語とも同じように似ているウクライナ語の単語は20語(71.4%)にのぼる。

⑧でもウクライナ語とロシア語が共通または類似している。28語中ウクライナ語と共通ないし類似しているロシア語の単語は23語(82.1%)、ポーランド語の場合は17語(60.7%)を占める。また、ロシア語ともポーランド語とも類似しているのは15語で、53.6%を占める。

⑨で取り上げているのは労働と企業に関わる諸単語である。ここではウクライナ語と共通ないし類似しているロシア語の単語は14語中9語(64.3%)、ポーランド語の場合は8語(57.1%)で、それぞれ比率では類似している。

⑩の表に掲げた教育関連の単語のうち、ウクライナ語に共通ないし類似するロシア語の単語は9語でその比率は50.0%であるが、ポーランド語の単語の場合は14語、77.8%であり、この点で

④ 人称代名詞 (14 語)

	ロシア語	ポーランド語		ロシア語	ポーランド語
私は	X	X	彼女を	X	
私を	X	X	私達は	X	X
君は	X	X	私達を	X	X
君を	X	X	君達・貴方 (達) は	X	X
彼は			君達・貴方 (達) を	X	X
彼を	X	X	彼ら・彼女らは	X	X
彼女は	X	X	彼ら・彼女らを	X	X

⑤ 人・家族・親族等 (34 語)

人間			父		
人々	X	X	母	X	X
男性			親		
女性			息子	X	X
結婚		X	娘	X	
生まれる	X	X	兄弟	X	X
男の子		X	姉妹	X	X
女の子	X	X	孫	X	X
子供 (単数)			親類		
子供 (複数)	X	X	おじ	X	
離婚			おば	X	X
死亡	X	X	従兄弟	X	
家族	X	X	従姉妹	X	
祖父	X	X	友人	X	X
祖母	X	X	仲間・同僚	X	X
夫			知人	X	X
妻			隣人	X	X

⑥ 住居と暮らし (15 語)

生活	X	X	ドア	X	
豊かな	X	X	窓	X	X
貧しい	X	X	部屋	X	
家屋	X	X	庭	X	
大きい	X	X	家に (で)	X	X
小さい	X	X	休む		X
新しい	X	X	眠る	X	X
古い	X	X			

⑦ 飲食 (28 語)

	ロシア語	ポーランド語		ロシア語	ポーランド語
食べる	X	X	お茶	X	
パン	X	X	コーヒー		X
バター	X	X	砂糖		X
チーズ	X	X	ミルク	X	X
肉	X	X	ジュース	X	X
卵	X	X	ビール	X	X
スープ	X	X	ワイン	X	X
小麦	X	X	朝食		X
ライ麦	X	X	昼食	X	X
じゃがいも	X		夕食		
野菜	X		スプーン	X	X
果物	X		フォーク	X	X
飲む	X	X	ナイフ	X	X
水	X	X	皿	X	X

⑧ 田園・都会 (28 語)

地方 (都会に対して)	X	X	路面電車	X	X
村	X		自動車	X	
農業			広場	X	
農民			デパート	X	
土地	X	X	市場	X	X
野畑	X	X	商店	X	
自然	X	X	商人	X	X
森林	X	X	商売・商業	X	
山	X	X	金銭		
川	X	X	買う	X	X
町・都市		X	売る	X	
駅	X	X	儲ける	X	X
ビル		X	職人	X	X
街路	X	X	技能	X	

⑨ 労働・企業 (14 語)

仕事・労働	X	X	収入	X	X
就業者		X	支出		
労働者	X	X	利潤	X	
労働組合			企業		
賃金	X	X	会社	X	X
経営	X		工場 (軽工業)	X	X
経営・管理者		X	職場	X	

⑩ 教育 (18 語)

	ロシア語	ポーランド語		ロシア語	ポーランド語
教育			書く	X	X
学校	X	X	理解する		X
教員	X	X	解く		X
生徒	X	X	計算する		
教科書		X	質問		X
ノート		X	答え		X
授業	X		課題	X	X
学ぶ	X	X	試験	X	X
読む	X	X	勉強・研究する		

⑪ 学術・研究 (14 語)

調査研究			学部	X	
分析	X	X	実験室	X	X
科学	X	X	図書館	X	X
論文	X		書籍・本	X	X
講義	X		教授	X	X
大学	X	X	准教授	X	X
研究所	X	X	学長	X	X

⑫ 民族・国家・国際 (16 語)

人民	X		連帯	X	X
民族	X		法	X	X
祖国・母国			自由	X	X
政府			平等		X
国家			博愛	X	X
世界	X	X	人類		X
国際 (的)	X	X	平和	X	
友好	X		戦争	X	X

はウクライナ語はロシア語よりもポーランド語に近いとみられる。

⑪の学術・研究に関わる単語については、ここで取り上げている14語においてウクライナ語とロシア語は92.9%共通しており、ポーランド語ではウクライナ語と共通ないし類似しているのは71.4%で、しかもそのポーランド語の単語はロシア語ともかなり重なっている。

⑫で取り上げている16のウクライナ語の単語

のうち、ロシア語と重なるのは11語(68.8%)、ポーランド語と重なるのは9語(56.3%)で、そのうちウクライナ語の単語でロシア語とポーランド語の両者に共通ないし類似しているのは7語(43.8%)である。

以上でみてきた12の語句群をまとめて全体として捉えたとき、ここで取り上げた250のウクライナ語の語彙のうち、ロシア語やポーランド語と共通ないし類似しているものの割合はどれくらい

	ロシア語	ポーランド語		ロシア語	ポーランド語
挨拶	42.9	50.0	飲食	85.7	82.1
疑問詞	80.0	60.0	田園・都会	82.1	60.7
時のリズム	48.4	83.9	労働・企業	64.3	57.1
人称代名詞	92.9	85.7	教育	50.0	77.8
人・家族・親族	64.7	58.8	学術・研究	92.9	71.4
住居と暮らし	93.3	80.0	民族・国家・国際	68.8	56.3
			全体の平均	69.2	68.4

になるか。

計算してみるとロシア語は 69.2%、ポーランド語は 68.4% となり、ウクライナ人とロシア人、ウクライナ人とポーランド人はそれぞれ自国語で話したり書いたりしても 7 割程度は意思疎通しあえるということになる。それは奇しくも「この 2 つの言語（ウクライナ語とロシア語）のうち語彙が似ているのは 70%」というゲージョンの指摘（Goujon, A. 2021, 邦訳 2022 : 91）とほぼ一致している。とくにそれは人称代名詞や疑問詞、そして日常生活に関わる飲食や居住についていえる。この結論はわずか 250 語の比較から得られた暫定的なものである。

5. 検討と結語

以上を要約するに当たって、関連する二つの学説を参照し検討したい。

ハンチントンはその著書『文明の衝突』（Huntington 1996, 邦訳 1998）において、「地域紛争のなかでも広範な戦争にエスカレートするおそれ強いのは、文明を異にするグループや国家のあいだの紛争」（邦訳 : 32）であるとして、ビザンチン文明から派生し、他の文明から切り離されたロシア文明と、ギリシャ・ローマ文明に発してローマ・カトリック教、封建主義、ルネサンス、宗教改革、海外拡張と植民地支配、啓蒙運動、国民国家の出現を経て宗教、言語、政教分離、法の支配、社会的多元性、議会、個人主義といった独特な特徴を体現した西欧文明とを区別している。

この文明観によればポーランドはむしろ西欧文明に属し、ウクライナは両文明の交差点に位置する。より具体的には、ウクライナ東部はロシア文明圏、西部は西欧文明圏の特徴を、それぞれ多かれ少なかれ持っている、ということになる。この文脈でいえば、2022 年 2 月以降のロシアによるウクライナ侵攻は、ウクライナ全土を自らの文明圏に再包摂し、NATO という軍事手段による西欧文明の浸透を阻止しようというロシアの衝動に発していると言明できるだろう。

しかし文明論から離れて、人間生活の基本単位としての家族の類型論からみると、別な構図が浮かび上がる。トッドはその著書『世界の多様性—家族構造と近代性』（Todd, E. 1999, 邦訳 2008）の中で世界を八つの家族類型に分け、ロシアは外婚型共同体家族型（結婚している息子達と同居、親子関係は権威主義的、兄弟間は平等）（邦訳 78, 99）だとし、この型の家族は特に強い兄弟愛を基礎にしており、強力な同化能力を持ち、人間同士の間や民族間の間に差異が存在するというのを認めるのを拒む特別な適性を持っているという。

他方、ポーランドの家族は個人主義的で平等主義的な文化を持つ平等主義的核家族型であり（トッド 2022 : 173）、結婚後は個々に親から独立し分離していくという（同 : 100-2）。この家族類型の人々は、ピラミッド型のロシア人からすると自分勝手であり、その民主主義は強い国家なしには機能せず、個人主義だけではアナーキーになってしまうと指摘している（同 : 99）。そして、ウク

ライナの家族類型はこのポーランドのそれと同じ部類に属し、その社会には「国家」が存在しないという。そして「ポーランド、ルーマニア、ウクライナというバルト海から黒海にいたるゾーンは核家族社会で、18世紀以来、国家が十分に機能してきませんでした」（同：102）と述べている。

以上で要約した文明論的解釈と家族類型論的解釈を手がかりに、本稿で扱った社会経済指標、価値類型、言語比較の三点から、ウクライナとロシアとポーランドの関係について検討してみる。

文明論的にはウクライナとロシアは同じ正教圏に属し、ポーランドが属するカトリック圏、そこから派生したプロテスタント圏とは異なる。価値類型からみてもウクライナはロシア（そしてベラルーシやブルガリアなど）と極めて近く、ポーランドとは距離がある。しかし生活の単位としての家族類型からみると、ウクライナはロシアと異なり、ポーランドと同類である。ところが言語に関しては、ウクライナ語はロシア語にもポーランド語にも近く、この三つの国の国民はそれぞれ自国語を用いても多かれ少なかれ相互に意思疎通しあえる環境にある。

しかしウクライナは社会経済水準において、世界的にみて貧困国グループに属し、旧ソ連・東欧ブロック内にあった国々の中では最低レベルに位置する。そのブロックが解体してロシアや旧東欧諸国の人々を待っていたのは、混乱した経済の下での厳しい生活難であった。しかし旧東欧諸国の中にあった国々は世紀の変わり目の頃にはすでに一定の経済水準に達し、人々の生活状況も改善され、次々とEU加盟を果たし、NATOにも参加して西欧文明圏の構成メンバーとなった。

ところがウクライナ（そしてベラルーシ）はソ連崩壊の1991年にロシア主導の独立国家共同体(DIS)に加わり、1997年にはロシアとの友好協力条約を締結して旧ビザンチン文明圏の再興を印象づけた。そしてロシア人と共有する伝統的価値観も残存し続けた。しかしその一方で国民の生活

難は続き、その中で西側からの商品の氾濫、そして同時に国内での低収入、雇用難状態の持続という状況の中に人々の生活は置かれつづけ、社会経済水準の国際ランク付けでは今なおこの国は低位にとどまっている。この状態から脱出するには、EU圏に属して西側経済に統合される（それはしばらく西側資本によるウクライナの植民地化の様相をとるとしても）という選択肢がますます現実味をおびてきている。しかしそれはロシアにとって西側軍事勢力の接近を意味し、自国防衛にとって容認しがたいものであった。ここには言語の類似性や価値観の共有性を越えた政治経済力学が働いている。

参考文献

- 黒川祐次, 2002『物語 ウクライナの歴史』中公新書。
- 黒田龍之助, 2017『初級ウクライナ語文法』三修社。
- 黒田龍之助, 2022『羊皮紙に眠る文字たち・再入門』白水社。
- ダツエンコ, イーホル(原田義也訳) 2018, 服部・原田(編著), 所収。
- トッド, エマニュエル, 2022『日本核武装のすすめ』文藝春秋新書。
- 中澤英彦, 2018「ウクライナ語, ロシア語, スールジク」服部・原田(編著), 所収。
- 中井和夫, 1998『ウクライナ・ナショナリズム』東京大学出版会。
- 服部倫卓・原田義也(編著), 2018『ウクライナを知るための65章』明石書店。
- Asinimov, Roman, 2013, "Interpersonal Trust: Comparative Analysis", in: Kitaitseva and Kuchenkova (eds.).
- Goujon, Alexandra, 2021, *L'Ukraine, de l'indépendance à la guerre* (『ウクライナ現代史』鳥取絹子訳, 河出新書, 2022).
- Huntington, Samuel P., 1996, *The Clash of Civilizations and the Remaking of World Order* (『文明の衝突』鈴木主税訳, 集英社, 1998).
- Inglehart, Ronald and Wynne B. Baker, 2000, "Modernization, Cultural Change and the Persistence of Traditional Values", in: *American Sociological*

Revue, Vol. 65, No3.

Kitaitseva, Olga and Anna Kuchenkova, 2013, "The Influence of Value Orientations on the Formation of Interpersonal Trust", in: Koslova and Karolina (eds.).

Kozlova, Oxana and Karolina Izdebska (eds.), 2013, *Cultures of Trust*, Minerwa Wydawnictwo Naukowe – Uniwersytet Szczecinski.

Maslow, A. H., 1954, *Motivation and Personality* (『人間性の心理学』尾口忠彦監訳, 産業能率大学短期大学出版部, 1971).

Todd, Emmanuel, 1999, *La diversité du monde: Structures familiales et modernité* (『世界の多様性 一家族構造と近代性』荻野文隆訳, 藤原書店, 2008).

引用資料 (インターネット)

World Value Survey, 2019, Inglehart-Welzel Cultural map. 1990年-91年, 1995年-98年の調査結果も

これとほぼ同様な3カ国の位置関係を示している。Inglehart and Baker, 2000: 29 参照。

「世界の中の日本を知る：世界ランキング」(国際統計格付センター)

「国際統計格付けセンターによる〈世界の中の日本を知る世界ランキング〉」の「世界・貧困層の人口割合ランキング CIA版」

「世界・幸福度ランキング (情報源：2015年国際連合持続可能開発ソリューションネットワーク (UNSDSN)) 幸福度：1人あたりGDP, 健康寿命, 社会的支援, 生き方の自由度, 気前よさ, 腐敗認識度から算出。偏差値世界平均50.00として, 世界158カ国中ポーランド60位 (偏差値53.6), ロシア64位 (偏差値53.0), ウクライナ111位 (偏差値43.9) であり, ちなみに1位はスイス (偏差値69.4), 最下位はトーゴ (偏差値27.8) で, 日本は46位 (偏差値55.4) である。

付 表
ウクライナ語・ロシア語・ポーランド語の語彙対照表

中澤英彦「ウクライナ語、ロシア語、スールジク」(服部倫卓・原田義也(編著)『ウクライナを知るための65章』(明石書店、2018年、105ページ)に掲載されているウクライナ語の挨拶表現25語句に本稿著者が新たに225語を追加して作成(合計250語)。ウクライナ語に近いロシア語やポーランド語の語彙は太字で示した。

	ウクライナ語	ロシア語	ポーランド語
① 挨拶			
1. あいさつ	привіт プリヴィート	привет プリヴィエト	przywitanie プシヴィターニエ
2. はじめまして	Дуже приємно ドゥージュェ・プリイエムノ	Очень приятно オーチェニ・プリヤートナ	Bardo mi miło. バルブ・ミ・ミーオ
3. ようこそ	Ласкаво просимо ラスカーヴォ・プロースィモ	Добро пожаловать ドーブロ・パジャラヴァチ	Witajcie ヴィータイチエ
4. お名前はなんといいいますか?	Як Вас звати? ヤーク・ヴァース・ズヴァーティ	Как Вас зовут? カーク・ヴァース・ザヴート	Jak się pan/pani nazywa? ヤク・シェン・パン(パニ)・ナズィーヴァ
5. 私の名は～です	Мене зветь... メネー・ズヴート……	Меня зовут... メニャー・ザヴート……	Nazywam się... ナズィーヴァム・シェン……
6. こんにちは!	Добрий день ドープリイ・デニ	Добрый день ドープリイ・ヂェニ	Dzień dobry ヂェニ・ドープリイ
7. おはよう!	Доброго ранку ドーブロボ・ランクウ	Доброе утро ドーブラエ・ウートラ	Dzień dobry ヂェニ・ドープリイ
8. こんにちは!	Добрий вечір ドープリイ・ヴェーチル	Добрый вечер ドープリイ・ヴィエチェル	Dobry wieczór ドープリ・ヴィエチェル
9. おやすみなさい	Добраніч ドブラーニッチ	Спокойной ночь スパコイナイ・ノーチ	Dobranoc ドブラーノツ
10. ありがとう	Дякую Спасибі ヂャークユスパスィービ	Спасибо スパスィーヴァ	Dziękuję ジエンクーイェン
11. やあ	Привіт! プリヴィート	Привет! プリヴィエト	Halo! ハロー
12. さようなら	До побачення ド・ポバーチェニャ	До свидания ダ・スヴィダーニャ	Do widzenia ド・ヴィゼーニャ
13. お願いします	Будь ласка ブーチ・ラスカ	Будь добры ブーチ・ドープリイ	Bądź dobry ボンチ・ドブリ
14. 召し上がれ	Смачного! スマチノーホ	Кушайте クーシャイチェ	Smacznego スマチネーゴ
15. 乾杯	Будьмо ブーチモ	Тост トースト	Toast トースト
16. ごめんなさい	Пробачте プロバーチテ	Извините イズヴィニーチェ	Przepraszam プシェブラシャム
17. ご機嫌いかが?	Як ся маєте? ヤーク・シャ・マーエテ	Как Вы поживаете? カーク・ヴィ・パジヴァーイェチェ	Jak się pan/pani ma? ヤク・シェン・パン/パニ・マー
18. よいです (副詞)	Добре ドープレ	Добро хорошо ドーブロ ハラショー	dobrze ドープジェ
19. 悪いです (副詞)	Погано ポハーノ	Плохо プローハ	źle ジュレ
20. 素晴らしい	Чудово チュドーヴォ	Чудно チュードノ	cudowno ツドーヴノ

21. どうぞ	Будь ласка ブーチ・ラースカ	Пожалуйста パジャールイスタ	Prosię bardzo プロシエン・パールゾ
22. おもしろい	цікавий ツイカーヴィイ	интересный インチェレスヌイイ	ciekawy チェカーヴィイ
23. 好きだ 愛している	любити リュビーチ	любить リュビーチ	lubić ルービッチ
24. 気に入る	подобатися ポドーバツツァ	нравиться スラーヴィツツァ	podobać się ポドーヴァッチ シエン
25. 美味しい	смачний スマーチヌイ	вкусный フクスヌイ	smaczny スマーチヌイ
26. はい	Да ダー	Да ダー	Tak ターク
27. いいえ	Ні ニー	Нет ニエツト	Nie ニエ
28. ~さん Mr. Ms.	пан パーン пані パーニ	господин ガスパジーン госпожа ガスパジャー	pan パーン pani パーニ
② 疑問詞			
29. なに？	Що? シチョー	Что? シュトー	Co? ツォ
30. いつ？	Коли? コリイー	Когда? カグダー	Kiedy? キエディ
31. だれが？	Хто? フトー	Кто? クトー	Kto? クトー
32. だれの？	Чий? チイイ	Чей? チェイ	Czyj? チイイ
33. どこに (で)？	Де? デー	Где? グヂェ	Gdzie? グヂェ
34. どこへ	Куди? クディー	Куда? クダー	Dokąd? ドコツト
35. なぜ？ どうして？	Чому? チョムー	Почему? パチェムー	Dlaczego? ドラチェーゴ
36. いかに？ どうやって？	Як? ヤーク	Как? カーク	Jak? ヤク
37. どんな？ (+男性名詞)	Який? ヤクイー	Какой? カコイ	Jaki? ヤーキ
38. どちらの？どの？	Котрий? コトルイー	Который? カトルイー	Który? クトゥールイ
③ 時のリズム			
39. 昨日	вчора ウチョーラ	вчера フチェラー	wczoraj フチョーライ
40. 今日	сьогодні スィオホードニ	сегодня セヴォードニヤ	dzisiaj ヂーシャイ
41. 明日	завтра ザーウトラ	завтра ザーフトラ	jutro ユートロ
42. 朝	ранок ラーノク	утро ウートラ	poranek ポラーネク
43. 昼	полудень ポールデニ	День ヂェニ	południe ポウードニエ
44. 夕	вечір ヴェーチル	вечер ヴェイチェル	wieczór ヴィエチェル

45. 夜	ніч ニーチ	ночь ノーチ	noc ノツ
46. 月曜	понедірок ポネヂーロク	понедельник パネエヂェーリニク	poniedziałek ポニエジアーウエク
47. 火曜	вівторок ヴィウトーロク	вторник フトールニク	wtorek フトーレク
48. 水曜	середя セレダー	среда スリエダー	środa シュローダ
49. 木曜	четвер チェトヴェール	четверк チェトヴィエルク	czwartek チヴァールテク
50. 金曜	п'ятниця プヤートニツァ	пятница ピヤートニツァ	piątek ピアアテク
51. 土曜	субота スボータ	суббота スボータ	sobota ソボータ
52. 日曜	неділя ネヂーリヤ	воскресенье ヴァスクレシエーニエ	niedziela ニエヂェーラ
53. 1月	січень シーチェニ	январь ヤンヴァーリ	styczeń ステイーチェニ
54. 2月	лютий リュウティイ	февраль フェヴラーリ	luty ルーティ
55. 3月	березень ベレーゼニ	март マールト	marzec マージェツ
56. 4月	квітень クヴィーテニ	апрель アプリエーリ	kwiecień クヴィエチエニ
57. 5月	травень トラーヴェニ	май マーイ	maj マーイ
58. 6月	червень チェールヴェニ	июнь イユーニ	czerwiec チェルヴィエツ
59. 7月	липень リーペニ	июль イユーリ	lipiec リーピエツ
60. 8月	серпень セールペニ	август アーヴグスト	sierpień シェルピエニ
61. 9月	вересень ヴェーレセニ	сентябрь センチャープリ	wrzesień ヴジェシエニ
62. 10月	жовтень ジョウウテニ	октябрь アクチャープリ	październik パジジエールニク
63. 11月	листопад リストパード	ноябрь ナヤープリ	listopad リストーパド
64. 12月	грудень フルーデニ	декабрь ヂェカープリ	grudzień グルーヂェニ
65. 春	весна ヴェスナー	весна ヴェスナー	wiosna ヴィオスナ
66. 夏	літо リート	лето リエタ	lato ラート
67. 秋	осінь オーシニ	осень オーセニ	jesień イエシエニ
68. 冬	зима ズイマー	зима ズイマー	zima ジマ
69. 年	рік リーク	год ゴート	rok ロク
④ 人称代名詞			
70. 私は…	я ヤー	я ヤー	ja ヤー

71. 私を	мене メネー	меня メニヤー	mnie ムニェ
72. 君は	ти テイ	ты テイ	ty テイ
73. 君を	Тебе テベー	тебя チェビヤー	ciebie チエビエ
74. 彼は	він ヴィン	он オン	on オン
75. 彼を	його イヨホー	его イェヴォー	jego go イエゴ ゴ
76. 彼女は	вона ヴォナー	она アナー	ona オナ
77. 彼女を	її イイー	єї イェイヨー	ją ヨン
78. 私達は	ми ムイ	мы ムイ	my ムイ
79. 私達を	нас ナース	нас ナース	nas ナース
80. 君達は	ви ヴィ	вы ヴィ	wy ヴィ
81. 君達を	вас ヴァース	вас ヴァース	was ヴァース
82. 彼ら・彼女らは	вони ヴォニー	они アニー	oni (男) one (女) オニ オネ
83. 彼ら・彼女らを	їх イーフ	их イフ	ich イフ
⑤ 人・家族・親族等			
84. 人間	людина リュディーナ	человек チェラヴィエク	człowiek チウオヴィエク
85. 人々	люди リユーディ	люди リユーヂ	ludzie ルーヂエ
86. 男性	чоловік チョロヴィーク	мужчина ムシュチーナ	mężczyzna メンシュチズナ
87. 女性	жінка ジーンカ	женщина ジェーンシチナ	kobieta コピエタ
88. 結婚	шлюб シュリユープ	брак ブラーク	ślub シュループ
89. 生まれる	родитися ロヂーツァ	родиться ラヂーツァ	rodzić się ローヂチ シェン
90. 男の子	хлопчик フロプチク	мальчик マーリチク	chłopiec フウォーピエツ
91. 女の子	дівчинка ヂェウチンカ	девочка ヂェーヴァチカ	dziewczynka ヂェウチンカ
92. 子供 (単数)	дитя ヂチャー	ребёнок レビョーナク	dziecko ジエツコ
93. 子供 (複数)	діти ヂーティ	дети ヂエチ	dzieci ジエツイ
94. 離婚	розлучення ロズルーチェンニヤ	развод ラズヴォード	rozwód ローズヴド
95. 死亡	смерть スメールチ	смерть スミエルチ	śmierć シミエルチ

96. 家族	сім'я родина シムヤー ロヂーナ	сім'я シユミヤー	rodzina ロヂーナ
97. 祖父	дід дідо ヂェド ゼード	дед дедушка ヂェド ゼエドゥシユカ	dziadek ヂァーデク
98. 祖母	бабуня бабуся バブーニャ バブーシヤ	бабушка バーブシユカ	babcia バーブチア
99. 夫	чоловик チョロヴィーク	муж ムーシユ	maż モンシユ
100. 妻	дружина ドルジーナ	жена ジェナー	żona ジョーナ
101. 父	батько パーティコ	отец アチェーツ	ojciec オイチエツ
102. 母	мати マーティ	мать マーチ	matka マートカ
103. 親	батьки パティキー	родители ラヂーチェリー	rodzice ロヂーツェ
104. 息子	син スイン	сын スイン	syn スイン
105. 娘	дочка ドーチカ	дочь ドーチ	córka ツールカ
106. 兄弟	брат ブラーティ	брат ブラート	brat ブラート
107. 姉妹	сестра セストラー	сестра シェストラー	siostra シヨーストラ
108. 孫 (男・女)	внук внучка ヴヌーク ヴヌーチカ	внук внучка ヴヌーク ヴヌーチカ	wnuk wnuczka ヴヌーク ヴヌーチカ
109. 親類	рідня リドニャー	родственник ロードストヴェンニク	krewny クレヴニ
110. おじ	дядько дядя ヂャーチコ ゼャーヂヤ	дядя ヂャーヂヤ	wuj (母方) ヴーイ stryj (父方) ストルイ
111. おば	тітка チートカ	тётя тётка チョーチャ チョートカ	ciotka ciocia チョートカ チョーチア
112. 従兄弟	двоюрідний брат ドヴォユーリドスイ・ ブラート	двоюродный брат ドヴォユロードスイ・ ブラート	kuzyn クズイン
113. 従姉妹	двоюрідна сестра ドヴォユーリドナ・ セストラー	двоюродная сестра ドヴァユロードナヤ・ シェストラー	kuzynka クズイーンカ
114. 友人 (-女)	приятель (-ка) プリーヤテリ (カ) друг подруга ドゥルーク ポードルガ	приятель (-ница) プリーヤーチェリ (ニツァ) друг подруга ドゥルーク パドルーガ	przyjaciel (-ciółka) プシヤーチェル (チウーウカ)
115. 同僚仲間 (男)	колега コレーガ	колега カリェガ	kolega コレガ
116. 知人	знайомий ズナヨームイ	знакомый ズナコームイ	znajomy ズナヨームイ
117. 近所の人	сусід スシート	сосед サシエト	sąsiad ソシァト
⑥ 住居と暮らし			
118. 生活	життя ズィツィヤー	жизнь ジーズニ	życie ズィーチエ

119. 豊かな	багатий バハーティ	богатый バガーティ	bogaty ボガーティ
120. 貧しい	бідний ビードスイ	бедный ビェドスイ	biedny ビェドニ
121. 家屋	дім ディーム	дом ドーム	dom ドーム
122. 大きい	великий ヴェリークイ	большой великий バリシヨイ ヴェリーキイ	wierky ヴィエルキイ
123. 小さい	малий マールイイ	маленький マーレニキイイ	mały マーウイ
124. 新しい	новий ノーヴィ	новый ノーヴィ	nowy ノーヴィ
125. 古い	старий スタールイ	старый スタールイ	stary スタールイ
126. ドア	двері ドヴェーリ	дверь ドヴィエリ	drzwi ドジュヴィ
127. 窓	Вікно ヴィクノー	окно アクノー	okno オークノ
128. 部屋	кимната キムナータ	комната コムナタ	pokój ポークイ
129. 庭	сад サート	сад サート	ogród オーグルト
130. 家に (で)	вдома ウドーマ	дома ドーマ	w domu ヴ・ドーム
131. 休む	відпочивати ヴィトポチヴァーティ	отдыхать アッデイハーチ	odpoczywać オトポチーヴァチ
132. 眠る	спати スパーティ	спать スパーティ	spać スパーチ
⑦ 飲食			
133. 食べる	їсти イースティ	есть イエスチ	jeść イエシチ
134. パン	хліб フリース	хлеб フリース	chleb フリース
135. バター	масло マースロ	масло マースラ	masło マースウォ
136. チーズ	сир スイール	сыр スイール	ser セール
137. 肉	м'ясо ムヤース	мясо ミヤース	mięso ミエンソ
138. 卵	яйце ヤイツェー	яйцо イエイツォー	jajko ヤイコ
139. スープ	суп スープ	суп スープ	zupa ズーパ
140. 小麦	пшеница プシェニツァ	пшеница プシェニツァ	pszenica プシェニツァ
141. ライ麦	жито ジート	жито ジート	żyto ジート
142. ジャガイモ	картопля カルトープリヤ	картошка カルトーシュカ	ziemniak ジエムニアク
143. 野菜	овоч オーヴォチ	овощ オーヴァシチ	warzywo ヴァジーヴォ

144. 果物	фрукти フルークティ	фрукты フルークティ	owoc オーヴォツ
145. 飲む	пити ピーティ	пить ピーチ	pić ピーチ
146. 水	вода ヴォダー	вода ヴァダー	woda ヴォーダ
147. お茶	чай チャイ	чай チャイ	herbata ヘルバータ
148. コーヒー	кава カーヴァ	кофе コーフィエ	kawa カーヴァ
149. 砂糖	цукор ツーカー	сахар サーハル	cukier ツーカー
150. ミルク	молоко モロコー	молоко マラコー	mleko ムレココ
151. ジュース	сік シーク	сок ソーク	sok ソーク
152. ビール	пиво ビーヴォ	пиво ビーヴァ	piwo ビーヴォ
153. ワイン	вино ヴィノー	вино ヴィノー	wino ヴィーノ
154. 朝食	сніданок スニダーノク	завтрак ザーフトラク	śniadanie シニャダーニエ
155. 昼食	обід オビート	обед アビェト	obiad オビアト
156. 夕食	вечеря ヴェチェリャー	ужин ウージン	kolacja コラーチア
157. スプーン	ложка ローシュカ	ложка ローシュカ	łyżka ウーシュカ
158. フォーク	виделка ヴィデルカ	вилка ヴィールカ	widelec ヴィデーレツ
159. ナイフ	ніж ニーシュ	нож ノーシュ	nóż ヌーシュ
160. 皿	тарілка タリールカ	тарелка タリエールカ	talerz ターレシュ
⑧ 田園・都会			
161. (都会に対して) 地方	провінція プロヴィーンツィヤ	провинция ブラヴィーンツィヤ	prowincja プロヴィーンツィア
162. 村	село セロー	деревня село ヂェリェーヴニャ セロー	wieś ヴィエシュ
163. 農業	сільське господарство シリシケー・ ゴスポダールストヴォ	земледение ゼムリエヂェーニエ сельскохозяйство シェリスカハジャーイストヴァ	rolnictwo ロルニーツトヴォ
164. 農民	селянин セリヤースィン	крестьянин クリエスチャーニン	rolnik chłop ロールニク フウォフ
165. 土地	земля ゼムリャー	земля ゼムリャー	ziemia ジエミア
166. 野畑	поле ポーレ	поле ポーリエ	pole ポーレ
167. 自然	природа プリローダ	природа プリローダ	przyroda プシローダ

168. 森林	ліс リース	лес リエス	las ラス
169. 山	гора ゴラー	гора ガラー	góra グーラ
170. 川	річка リーチカ	река リエカー	rzeka ジェカ
171. 町、都市	місто ミースト	город ゴーラド	miasto ミアスト
172. 駅（小さな）	станція スターンツイヤ	станция スターンツイヤ	stacja スターツイヤ
173. 建物	будинок ブディーノク	здание ズダーニエ	budynek ブディーネク
174. 街路	вулиця ヴーリツイヤ	улиця ウーリツツァ	ulica ウリーツァ
175. 路面電車	трамвай トラームヴァイ	трамвай トラームヴァイ	tramwaj トラームヴァイ
176. 自動車	машина マシーナ	машина マシーナ	samochód サモーフド
177. 広場	площа プローシチャ	площадь プローシチャヂ	plac ブラーツ
178. デパート	універмаг ユニヴェルマーフ	універмаг ユニヴェルマーク	dom towarowy ドーム・トヴァローヴィ
179. 市場	ринок ルイノク	рынок ルイナク	rynek ルイネク
180. 商店	магазин マガズィーン	магазин マガジーン	sklep スクレプ
181. 商人	купець クペーツ	купец クピェーツ	kupiec クーピエツ
182. 商売・商業	торгівля トルヒーヴリヤ	торговля タルゴーヴリヤ	handel ハンデル
183. 金銭	гроші グローシ	деньги ヂェーニギ	pieniądze ピェニョンゼ
184. 買う	купувати クブヴァーティ	покупать バクパーチ	kupować クポーヴァチ
185. 売る	продавати プロダヴァーティ	продавать ブラダヴァーチ	sprzedawać スプシェダーヴァチ
186. 儲ける	заробити ザロブィーティ	заработать ザラボータチ	zarabiać ザラービャチ
187. 職人	ремісник レミスィーク	ремесленник リエミェースリェニク	rzemieślnik ジェミエースウニク
188. 技能	майстерність マイステールニスチ	мастерство マステェルストヴォー	zręczność ズレンチノシチ
⑨ 労働・企業			
189. 仕事・労働	праця робота ブラーツィヤ ロボータ	работа ラボータ	praca ブラーツァ
190. 就業者	працівник ブラツイウスイーク	работник ラボートニク	pracownik ブラツォーウニク
191. 労働者	робітник ロビトスイーク	рабочий ラボーチイ	robotnik ロボートニク
192. 労働組合	профспілка プロフスピールカ	профсоюз ブラフサユース	związek zawodowy ズヴョンゼク・ ザヴォドーヴィ

193. 賃金	заплата ザプラタ	заплата ザプラタ	zapłata ザプワータ
194. 経営	управління ウブラウリーニヤ	управление ウブラヴリェーニエ	kierownictwo キエロヴニーツトヴォ
195. 経営・管理者	керівник ケリウスイーク	управляющий ウブラヴリヤーユシチイ	kierownik キエローヴニク
196. 収入	дохід ドホート	доход ダホート	dochód ドーフト
197. 支出	витрата ヴィートラタ	расход ラスホート	wydatek ヴィダーテク
198. 利潤	прибуток プリヴートク	прибыль プリブイリ	zysk ズイスク
199. 企業	підприємство ピドプリエームストヴォ	предприятие プリェドプリヤーチエ	przedsiębiorstwo プシェドシエンピオールスト ヴォ
200. 会社	фірма フィールマ	фирма フィールマ	firma フィールマ
201. 工場（軽工業）	фабрика ファブリカ	фабрика ファブリカ	fabryka ファブリエカ
202. 職場	цех ツェフ	цех ツェフ	pracownia プラツォーウニア
⑩ 教育			
203. 教育	освіта オスヴィータ	воспитание ヴァスピターニエ	wykszalcenie ヴィクシュタウツェーニエ
204. 学校	школа シュコーラ	школа シュコーラ	szkoła シュコーワ
205. 教員（男）	учитель ウチーテリ	учитель ウチーチェリ	nauczyciel ナウチーチェル
206. 生徒（男）	учень ウーチェニ	ученик ウチェニーク	uczeń ウーチェニ
207. 教科書	підручник ピドルーチヌイク	учебник ウチェーブニク	podręcznik ポドレッチニク
208. ノート	зошит ゾーシト	тетрадь チェトラーティ	zeszyt ゼーシト
209. 授業	урок ウローク	урок ウローク	zajęcia ザイェンツィア
210. 学ぶ	вчитися ウチーツァ	учиться ウチーツァ	uczyć się ウーチチ・シェン
211. 読む	читати チターティ	читать チターチ	czytać チータチ
212. 書く	писати ピサーティ	писать ピサーチ	pisać ピーサチ
213. 理解する	зрозуміти ズロズミーティ	понимать パニマーチ	rozumieć ロズーミェチ
214. 解く（完）	розв'язати ロズヴァザーティ	решить リェシーチ	rozwiązać ロズヴォンザチ
215. 計算する	рахувати ラフヴァーティ	считать スチターチ	obliczać オブリーチャチ
216. 質問	питання ピターヌイヤ	вопрос ヴァプロース	pytanie ピターニエ
217. 答え	відповідь ヴィートボヴィチ	ответ アトヴィエト	odpowiedź オトボーヴィエチ

218. 課題	задача ザダーチャ	задача ザダーチャ	zadanie ザダーニエ
219. 試験	екзамен エグザーメン	экзамен エグザーミエン	egzamin エグザーミン
220. 勉強（研究）する	вивчати ヴィウチャーティ	изучать イズチャーチ	badac バーダチ
① 学術・研究			
221. 調査研究	дослідження ドスリーヂェンニヤ	исследование イッスリエーダヴァニエ	badanie バダーニエ
222. 分析	анализ アナーリス	анализ アナーリス	analiza アナリーザ
223. 科学	наука ナウーカ	наука ナウーカ	nauka ナウーカ
224. 論文	стаття スタッチャー	статья スタチヤー	artykuł アルティクウ
225. 講義	лекція レークツイヤ	лекция レークツイヤ	wykład ヴィークワト
226. 学部	факультет ファクリテート	факультет ファクリチエート	wydział ヴィーヂアウ
227. 大学	університет ウニヴェルスイテート	университет ウニヴェルシチエート	uniwersytet ウニヴェルスイエート
228. 研究所	інститут インスティトゥート	институт インストトゥート	instytut インストトゥート
229. 実験室	лабораторія ラボラトリーヤ	лаборатория ラボラトリーヤ	laboratorium ラボラトリーウム
230. 図書館	бібліотека ビプリオテーカ	библиотека ビプリアチェーカ	biblioteka ビプリオテーカ
231. 書籍	книга クニーハ	книга クニーガ	książka クシヨンシユカ
232. 教授	професор プロフェーソル	профессор ブラフェーツサル	profesor プロフェーソル
233. 准教授	доцент ドツェント	доцент ダツイエント	docent ドツェント
234. 学長	ректор レークトル	ректор リエクタル	rektor レークトル
② 民衆・国家・国際			
235. 人民	народ ナロード	народ ナロード	lud ルド
236. 民族	нація ナーツイヤ	нация народ ナーツイヤ ナロード	narod ナーロード
237. 祖国	батьківщина パティキウシチーナ	отечество アチエーチェストヴァ	ojczyzna オイチーズナ
238. 政府	уряд ウーリヤド	правительство ブラヴィーチェリストヴァ	 rząd ジョンド
239. 国家	стан держава スターン デルジャーヴァ	государство ガスダールストヴァ	państwo パーニストヴォ
240. 世界	світ スヴィート	мир свет ミール スヴィエト	świat シュヴィアト
241. 国際（的）	міжнародний ミジュナロードスイ	международный ミエジュドゥナロードスイ	miedzynarodowy ミエンズィナロードーヴィ
242. 友好	дружби ドゥルージュブイ	дружба ドゥルージュバ	przyjaźń プシヤジュニ

243. 連帯	солідарність ソリダールニスティ	солдарность サルダールナスチ	solidarność ソリダールノシチ
244. 法	право プラーヴォ	право プラーヴァ	prawo プラーヴォ
245. 自由	свобода スヴォボータ	свобода スヴァボータ	swoboda スヴォボータ
246. 平等	рівністі リーウニスティ	равенство ラーヴェンストヴァ	równość ルーヴノシチ
247. 博愛	філантропія フィラントローピヤ	филантропия フィラントローピヤ	filantropia フィラントローピア
248. 人類	людство リュートストヴォ	человечество チェラヴェーチェストヴァ	ludzkość ルーツコシチ
249. 平和	мир ミール	мир ミール	pokój ポークイ
250. 戦争	війна ヴィイナー	война ヴァイナー	wojna ヴォイナ

参照辞典

- (1) NEW ENGLISH-UKRAINIAN UKRAINIAN-ENGLISH DICTIONARY (キウフ: Видавництво, 1999)
- (2) 『博友社ロシア語辞典〈改訂新版〉』(博友社, 1995年)
- (3) 『ロシア語ミニ辞典』(白水社, 1997年)
- (4) PODRĘCZNY SŁOWNIK ANGIELSKO-POLSKI (Warszawa: WIEZDA POWSZECHNA, 1971)
- (5) SŁOWNIK ANGIELSKO-POLSKI POLSKO-ANGIELSKI (Ex Libris: Galeria Polskiej Książki, 2002)